

議会における事務事業評価結果

令和3年10月7日

大町市議会

議会における事務事業評価

市議会決算審査特別委員会では、議会基本条例に規定される市の執行機関を監視・評価する、という議会本来の果たすべき責務を強化するとともに、より住みやすいまちづくりと市の更なる発展を目指すことを目的として、事務事業評価を6月定例会から実施してきました。

評価の方法については、分科会ごと令和2年度事務事業の中から評価の対象とする以下の事業を選定し、市から事務事業の内容について説明を受けた後、各委員から出された評価について回数を重ね議論し、分科会としての評価に集約しました。全体会では、分科会の評価結果をもとに全議員で意見を出し合い、最終的な評価結果を次ページからのとおり取りまとめました。

なお、「方向性・提案」は、主に事業の予算規模や対象を拡充することが望ましい「拡充」、事業を現状どおり進めることが望ましい「現状のまま継続」、事業の対象や実施手法等を改善して進めることが望ましい「改善のうえ継続」、事業の規模縮小または休止・廃止を含め実施手法等を検討することが望ましい「見直し」の4項目に分類しています。

第1分科会（総務産業委員会所管）において評価した事務事業

- ・ 市民バス運行事業
- ・ 中心市街地活性化事業
- ・ コンパクトシティ形成事業

第2分科会（社会文教委員会所管）において評価した事務事業

- ・ 学校現場業務改善加速事業
- ・ 上原の湯管理費
- ・ 家庭児童相談室事業
- ・ 介護予防包括的支援事業
- ・ 環境保全事業

令和2年度事務事業評価結果

【共通事項】

- 1 事務事業評価調書の作成にあたっては、成果を具体的に記載いただきたい。

事務事業名	市民バス運行事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 市民バスは、高齢化が進む中、交通弱者の移動手段を確保するためにはなくてはならないものであり、今後ますます重要度が高まる。市民バスの利用者はもちろん、市内の各団体や各地域、そして各世代の声を聞く中で、市民のニーズや改善点を明らかにし、市民の利用意欲を喚起するものとなるよう努力されたい。</p> <p>② デマンド運行方式については、その内容や利用方法について、市民に未だ充分周知されていない。今後は、今まで以上に高齢者にも伝わる方法で周知徹底する努力をされたい。</p> <p>③ 国や自治体において、低炭素社会の実現に向けた動きやデジタル化が進むなか、公共交通においてもMaaSの実証実験などが始まっている。より効率的で利用しやすい公共交通を実現するためにも、最新の動向を注視・研究し、市の公共交通への積極的導入に向け検討されたい。</p>

事務事業名	中心市街地活性化事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 中心市街地の活性化は、コンパクトシティ形成事業や公共交通、駐車場の立地など他部局との関係性が高い。他事業との密接な連携により効果的に本事業を進められたい。</p> <p>② 中心市街地にある未利用地や空き家物件の利活用を進めるために、民間事業者との情報共有、連携をより強化されたい。また、市民や民間の声を聞き斬新な発想を取り入れ、にぎわいの創出や市街地に人が集まる仕組みづくりについて、空き家・空き地の公共利用等も含め検討されたい。</p> <p>③ まちづくりにとって最も重要なものは人材である。店舗等の後継者をはじめ、まちづくりの中心的な担い手を育成するた</p>

	<p>め、取組を強化されたい。</p> <p>④ 大規模小売店の郊外への出店により、中心市街地のあり方の再考が迫られている。中心市街地は買い物のみならず、文化や人の交流の中心としての機能が求められる。今も残る大町の伝統文化を生かした統一感のあるまちづくりを行うなど、行きたくなるまち、歩きたくなるまちの形成に取り組まれたい。</p>
--	--

事務事業名	コンパクトシティ形成事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① コンパクトシティは、中心市街地の活性化、公共交通等、他部局、他事業との関連性が非常に高い。未来の大町市の姿を描く、明確な目標とビジョンを持ち、部局横断的な取組が重要である。</p> <p>② コンパクトシティの形成により、周辺地域の衰退も懸念される。地域拠点の充実を図りつつコンパクト・プラス・ネットワークを効果的に進めることで、大町市全体の活性化を図られたい。</p> <p>③ 立地適正化計画や緑の基本計画の作成にあたっては、市民へのわかりやすい情報提供と、丁寧な合意形成を図りながら、専門家の意見も取り入れつつ進められたい。</p>

事務事業名	学校現場業務改善加速事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 教職員の負担軽減とともに、子どもと向き合う環境を整えることが目的にある。環境整備の成果が目に見えるよう努められたい。</p> <p>② 時間外労働の軽減効果は表れてきている。今後は、市独自の事業として、長時間労働の要因を明確にし、対策に取り組まれたい。</p> <p>③ アンケートを今後も継続し、回収率の向上に努めるとともに、設問内容を充実させ、現場の声を事業に反映出来るよう取り組まれたい。</p>

	④ 教職員の負担軽減のため、学年費等の学校徴収金業務の取扱いについて、さらなる改善策を検討されたい。
--	--

事務事業名	上原の湯管理費
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 市民の健康保持増進が目的であり重要な施設である。市内の利用者が増えるよう、衛生管理の徹底に取り組まれない。</p> <p>② 安定的な運営管理が行えるよう、担当課と事業者との定期的な意見交換が重要である。継続して取り組まれない。</p> <p>③ 改善の方法等に観光客の誘客を掲げるのであれば、入湯税についても検討すべきではないか。施設運営の目的を再度整理されたい。</p>

事務事業名	家庭児童相談室事業
方向性・提案	拡充
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 子どもの生命に関わる緊急的なケースが増加しているため、拡充すべき事業である。</p> <p>② 家庭児童支援に関わる他の事業や、専門家との連携及び情報共有体制の強化に取り組まれない。</p> <p>③ 相談件数が増加し内容も複雑化している。相談室の周知を図るとともに、利用者が相談しやすい環境整備及び相談体制の強化に努められたい。</p> <p>④ 有資格者の確保や人員体制の充実に繋がるよう、予算の拡充も含め検討されたい。</p>

事務事業名	介護予防包括的支援事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 委託料の費用対効果及び成果を明確にすべきである。</p> <p>② 地域包括支援センターの直営と委託先の役割分担を明確にし、市民にとってより良い事業となるよう取り組まれない。</p> <p>③ 事業継続のため、専門家や有資格者の確保について、引き続き努力されたい。</p>

事務事業名	環境保全事業
方向性・提案	改善のうえ継続
この事業に対する総合評価及び今後の方向性に至った理由、改善提案、意見等	<p>① 他の事業と重複した取組が多いため、事業区分の見直しを検討されたい。</p> <p>② 事業目的を明確に示すべきである。</p> <p>③ 環境保全推進員の取組内容や目標達成状況を明確にすべきである。</p> <p>④ 外来植物駆除について、予算の拡充を検討すべきである。</p>